

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業 -企業等との連携事業-

「自分史活用講座～思い出を語ろう～」を開催しました。

令和3年3月12日に、自分史活用アドバイザー・相続診断士の岩屋仁美様を講師にお迎えし、「自分史活用講座～思い出を語ろう～」を開催しました。

この講座は、一枚の写真から周辺の思い出（その写真を撮る当時やその前後であったこと）を話す事で、当時の良い事を振り返るきっかけにし、話を聞く側もその人の事に興味が湧いてきて、会話のきっかけに繋がってもらう目的で開催されました。



講師：岩屋 仁美さん

最初は自分史の説明、講師がこの活動を行うに至った経緯などを話し、そのまま講師が作成した作品の説明を行っていました。

講師の発表が終わった後は、受講者自らが持ち寄った思い出の写真を、用意された色紙に貼り、マジック等で彩っていきました。最初こそ思い出せないといった受講者も見られましたが、一度に全部思い出すのではなく、断片的にでも記憶を繋いでいけば辿り着ける、ということで講師とも相談、質問しながら自分史を完成させていきました。

後半には先ほど作った自分史を実際に発表していく時間となりました。

一人ずつ名前を言った後、写真の貼られた色紙を見せ合い、思い出を語っていました。今回は全員が旅行に行った思い出を語っていましたが、どこに行ったか、道中でどんなことがあったかは一人一人違って面白さがありました。

講座が終わった後には、この講座の狙い通り、参加された受講者同士が自分史を掘り下げ合ったり、今回発表されたものの他に思い出はないか盛り上がり上がっていたりしていました。

「好きなことを喋って、人の人生を知って、その人の人生に触れてみて、想像してみると良い」と講師が結び、講座が終了しました。

